



理工学専攻機能材料化学コースの大学院生が 第59回化学関連支部合同九州大会において若手研究者奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程1年の重松 可菜 さんが、令和4年7月2日（土）に開催された第59回化学関連支部合同九州大会において、若手研究者奨励賞（無機化学）を受賞しました。

【本文】

第59回化学関連支部合同九州大会が、令和4年7月2日（土）に北九州国際会議場で開催されました。本会は、化学関連8学会（日本化学会、日本分析化学会、電気化学会、有機合成化学協会、化学工学会、高分子学会、繊維学会、日本農芸化学会）の九州支部等の共催により毎年開催される、化学関連の研究発表会としては最大規模のものです。本会では、厳格な審査の下で、優れた研究成果と発表を兼ね備えたポスター発表を行った学生を各支部学会が表彰しています。無機化学分野で行われた47件のポスター発表の中から優れたポスター5件が選出され、理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程1年 重松 可菜 さんが、若手研究者奨励賞（無機化学）を受賞しました。今後の益々の活躍が期待されます。

○若手研究者奨励賞（無機化学）[日本化学会九州支部]

理工学専攻機能材料化学コース 博士前期課程1年 重松 可菜 さん

（指導教員：山田 泰教 教授）

題目：簡素な Diamine 化合物から誘導される N₂O₄ 型配位子を用いた希土類錯体の合成と分光学的性質

発表者：重松 可菜，郡 大心，米田 宏，鯉川 雅之，
山田 泰教

ホームページ：<https://kcsj.jp/weblog/archives/14>



受賞した 重松 可菜 さん